



螢雪会報

茨城県立境高等学校同窓会会報

第 6 号

令和2年8月1日発行

(年1回発行)

発行所

茨城県立境高等学校

螢雪会

茨城県猿島郡境町175

TEL 0280 (87) 0123

「ご挨拶」

同窓会会長 酒井義博



螢雪会会員の皆様には、平素よりいろいろご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、世界中が種々の活動を自粛する中、私たち境高校同窓会も、この螢雪会報の発行やその打ち合わせなど、必要最小限のもの以外は活動を自粛しております。

そのような流れの中で、8月2日(日)開催予定の総会も、延期せざるを得ないことになりました。中止でなく、敢えて延期としたのは、今回は、第30回生(全日制)、第31回生(定時制)が招待学年になっていますが、毎年皆様がここでの同期会を楽しみにしておられるので、できるだけ可能性を残したいと思っただけです。

従って、総会は、11月22日(日)開催となりました。それまでに、コロナの状況が改善しなければ中止となります。その判断は、9月中頃までにするということになっていますのでご了承ください。

昨年度の総会は、8月4日(日)に、ベルさかいにて開催され、お三方の恩師の先生を含め、総勢百三十余名参加の盛会となりました。今回は、議事の審議に先立ち、前年高額のご寄付をいただいた小嶋敏彦氏(高8回生)と遠藤裕子氏(高12回生)への感謝状贈呈がありました。なお、このご寄付の使途については、生徒への奨学金の充実という形で使わせていただくことになりました。

最後に、この螢雪会報も第6号を数え、ど

うにか定着してまいりましたが、発行費用の賛助金の集まり具合で少々頭を痛めております。今回も、ご協力いただきやすいように工夫いたしましたので、よろしくお願ひ申し上げます。(詳しくは12ページをご覧ください)

「ご挨拶」

学校長 清田 聡



一昨年4月、28年ぶりに境高等学校に赴任させていただきました。二年が経ちました。同窓生の皆様には平素より本校を温かく見守っていただき物心ともに厚いご支援を賜り厚く感謝申し上げます。お陰様で、落ち着いた雰囲気の中、活力に満ちた学校生活を在校生に送らせることができいております。特に一昨年度は一大行事である創立90周年記念式典を厳粛且つ盛大に挙行することができまし、昨年度は文化講演会において本校同窓生であり元Jリーガー眞中幹夫、平山 大、両氏に後輩達に熱い思いを語っていただきました。以下、令和元年度の進路状況、部活動の実績等を紹介させていただきますが、本校の素晴らしい伝統「文武不岐」の精神の賜と思われます。昨年度も立派な成績を取ってくれました。

【進路状況】
進学・国公立大学6名(茨城大学(2)、宇都宮大学(2)、山形大学、諏訪東京理大)、私立大学187名(中央大学、法政大学、成蹊大学、成城大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、獨協大学、國學院大學、文教大学等)、短期大学8名、専門学校57名

(看護系7名)。
就職・民間企業等17名。

【部活動成績】

弓道部・県大会優勝(東日本大会出場)、陸上競技部・関東大会出場、吹奏楽部・東関東コンクール出場。

県予選ベスト16・サッカー部、野球部、剣道部、男子ソフトテニス部、女子テニス部。

県大会出場・女子ソフトテニス部、女子バレーボール部、卓球部。

※応援団リーダー部・NHK『首都圏ネットワーク』出演(H30年度)。

※他の有志を含め、各種ボランティア活動参加(境町主催・介護施設・特別支援学校等)。

今、技術革新、グローバル化の進展、AI(人工知能)の進化等によって、社会は急激に進化を続けており、「グローバル人材」つまり「地球規模で考え、地域に貢献出来る人材」が求められています。本校の「文武両道」を旨とする教育方針及び恵まれた教育環境の中でこそ、「グローバル人材」の素地となるコミュニケーション能力や協働性、課題を発見し解決する力等が育まれていくはずで

今後、学校施設・教育活動を一層充実させて、皆様が続く後輩達が、「境高校」で学ぶことに更なる誇りを持ち、近い将来「グローバル」人材として地元地域社会のみならず、世界的にも活躍できる人材として単立っていきますよう、そして更なる伝統を積み重ねて行きますよう、微力ではありますが力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の最中、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和元年度同窓会総会・懇親会報告

総会出席者135名、盛大に総会を開催

令和元年8月4日(日)、境町ベルさかいにおいて同窓生135名の参加をいただき、境高等学校の同窓会総会が開催されました。

境高校同窓会(蛍雪会)では、昭和55年から毎年8月の第1日曜日に、その年に還暦を迎えられる同窓生の方々を招待し、総会そして懇親会を開催しています。

昨年度の総会では、30回生(全日制)・31回生(定時制)の方々を招待させていただきました。そこでは、本部役員会で審議された平成30年度同窓会事業報告、会計決算・監査報告、令和元年度事業計画・会計予算案などが審議され、議決承認されました。

また、小嶋敏彦様(高校8回生)と遠藤裕子様(高校12回生)より高額のご寄付をいただき、その感謝状の贈呈も行いました。総会の最後に、参加者全員の自己紹介や近況報告が行われ大いに盛り上がりました。

総会に引き続き、引き続き懇親会が開かれ、何十年ぶりという再会に、また恩師との再会に目頭を熱くされた方々もたくさんおられ成



功裏に終了することができました。また、境高校の応援団リーダー部も加わり、宴に花を添え、大いに盛り上がりました。



功裏に終了することができました。また、境高校の応援団リーダー部も加わり、宴に花を添え、大いに盛り上がりました。

本部役員	名譽会長	清田 聡	校長
会長	酒井 義博	高12	
副会長	石山 征夫	高14	
副会長	神坂 守男	高18	
副会長	猪瀬 晴男	高19	
監査	木村 泰之	高25	
監査兼校外幹事長	野村 正昭	高26	
校内幹事	幹事長	細島 洋一	高43
幹事	日向 久	教頭	
幹事	秋田 剛		
幹事	副幹事兼事務室長		
幹事	井上 豊	高32	
幹事	岡田 敦子	高33	
幹事	酒井 晶子	高34	
幹事	飯塚美由紀	高40	
幹事	羽石 直樹	高60	
幹事	猪瀬 幸夫	高27	
幹事	松葉 未矩	高65	

総会並びに還暦同窓会の報告



発起人代表 大木 直人

同窓会長の酒井様はじめ同窓会本部役員、支部長の皆様方、さらに境高校からは、清田校長先生、市川教頭先生、秋田事務室長、そして恩師の長谷川巖先生、斉藤孝雄先生、小関日出男先生のご臨席を賜り、盛大に還暦同窓会が開催できましたことを心から感謝申し上げます。開催に当たりましては、校外幹事長の野村先生、校内幹事長細島先生並びに事務局の先生方には、企画・立案・運営についてお骨折りいただきありがとうございます。また、39名の発起人の皆様には本当にお世話になりました。

まずは、高校卒業後それぞれの人生を40年以上歩んできた同級生が、60歳となる大きな節目となる年に、恩師の先生方をお招きし還暦同窓会が無事開催できた幸運を、心から喜びたいと思います。

当日は、例年通り同窓会総会に還暦同窓会の出席者も参加し、議案の審議・議決・承

認に加わりました。全員の自己紹介もあり、一言ずつの近況報告には、共感するものや感動するものがたくさんありました。同じ学び舎で青春時代を過ごしたという絆で、一体感のある総会となりました。

還暦同窓会(懇親会)では、再会の喜びと懐かしさとともに、初老を迎えたそれぞれの人生を振り返る有意義な時間を過ごすことができました。また、境高校応援部の皆さんが、素晴らしい演舞や校歌を披露して下さい、第二の人生に向けて元気をいただきました。

我が境高校は、一昨年創立90周年を迎えました。新たな時代においても、「先輩の活躍は後輩へのプレゼント」「同輩の活躍は自分の実績」「先輩の活躍は先輩のステイタス」という思いで、同窓生がモチベーションを高めて、社会に貢献していけたら素晴らしいと思います。

結びになりますが、境高校のますますの発展と、同窓生の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りしまして、総会並びに還暦同窓会のご報告いたします。

令和元年度茨城県立境高等学校同窓会事業報告

平成31年

4月1日(月) 同窓会校内幹事打ち合わせ

4月5日(金) 歓送迎会 本部役員出席

4月9日(火) 入学式

同窓会会長・本部役員参列

令和元年

5月27日(月) 陸上部関東大会・部活動奨励金

6月21日(金) 同窓会総会発起人会

高校30・31回生

7月8日(月) 同窓会本部役員会

7月22日(月) 陸上部関東大会・部活動奨励金

8月1日(木) 蛭雪会報発行

8月4日(日) 同窓会総会

9月9日(月) 陸上部関東大会

吹奏楽部東関東大会・部活動奨励金

10月18日(金) 同窓会本部役員会

同窓会奨学生選考会議

同窓会奨学生奨学金交付式(3名)

(月額7000円)

令和2年

1月14日(火) 同窓会本部役員会(臨時)

2月28日(金) 同窓会入会式・卒業記念品贈呈

3月1日(日) 全日制普通科 第72回卒業式

3月9日(月) 弓道部東日本大会・部活動奨励金

令和元年度 茨城県立境高等学校同窓会決算書

収入総額 7,239,720円

支出総額 5,682,740円

差引残高 1,556,980円 (次年度へ繰越)

1.収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,285,200	1,279,800	△5,400	5,400円×237名
繰越金	5,959,732	5,959,732	0	平成30年度から繰越
雑収入	18	188	170	預金利息、卒業学年残金
計	7,244,950	7,239,720	△5,230	

2.支出の部

科目	予算額	決算額	残額	備考
会議費	150,000	37,665	112,335	役員会会議費等
総会費	350,000	348,591	1,409	総会出欠はがき・印刷代、功労者への感謝状等総会経費
事務費	20,000	0	20,000	
通信費	30,000	31,564	△1,564	総会通知等郵送料
慶弔費	100,000	22,500	77,500	転退職教職員へ花束
卒業記念品費	400,000	300,300	99,700	卒業記念品代
生徒活動費	800,000	290,120	509,880	大学合格垂れ幕、部活動関東大会出場祝金
奨学金	685,100	252,000	433,100	奨学金3名
記念事業積立金	400,000	400,000	0	周年事業積立金へ積立
予備費	4,309,850	4,000,000	309,850	奨学金定期へ積立
計	7,244,950	5,682,740	1,562,210	

3.残金 1,556,980円は次年度へ繰り越します。

同窓会総会に出席して

小関 日出男



した。最後の夏大会では、主将のリーダーシップの下、少数3年生が核となり今でも語り継がれる素晴らしい戦績を残したのである。

昨年8月4日(日)ベルサスカイに於いて還暦同窓会が開催された。135名の同窓生が出席し、私が担任したクラスは18名が参加、野球部員は6名全員が出席した。振り返れば野球部とクラスには強い思い出がある。

野球部は、主将は染谷、副主将が金久保である。新チーム発足の時、「今度のチームは先生の指導に全面的に付いていく」と言ってますと部長が報告してくれた。私はそれを訊いて身震いした。これは大変なことになったと。熟慮の上、私も腹を決めたのである。これから1年間自分の思う通りやろう、そして打線の中軸は変えないと。指導上の大きな転換は春期東西地区大会でした。当時、全盛の鬼怒商高に地区大会で8対0のスコールド負けを期し、内4点は守備エラーであった。エラーの失点が悔しかった。この悔しさは何度も思い出す。その後は、殆ど守備練習のみに徹

クラスは、個性豊かな生徒達であった。当時は2〜3年持ち上がりなのでクラス運営は2年計画で考えた。2年次は種を薪ぎ、3年次は花を咲かせる。何をするかとな？と思わせた。数学の授業で眠い生徒が多く居ると授業を止めて短時間の居眠りタイムとした、また旧館の日の当たらない教室で約束が守れない罰としてストープの1週間使用禁止としたなど。何気なく始めた「いいたい放題」ノートは日替わりで思いのまま自由に書かせて提出させ、私もコメントを必ず書いた。回を追う毎に自分の内面を吐露し自分を見詰める様になってきた。3年になり、進路の面談・面接練習を頻繁に行い、彼らとの関係は更に深くなった。球技会(女子バレー)では休日練習もした。彼らの成長は著しかった。それを実感できた2年間は忘れ難い貴重な思い出です。

令和2年度 同窓会総会 延期のお知らせ

8月2日(日)開催予定を 11月22日(日)に延期します。(状況が改善されなかった場合は中止)

同窓会・クラス会

第14期生クラス会

令和元年10月20日(日)

親家さむらい 幹事 石井 昭子

幹事長の鈴木浩さんから同窓会会報への記事を...というお電話を頂き、改めて記憶を辿りましたところ、高校を卒業して58年が経ちました。月日の流れの速さに今更ながら驚いております。 10月20日は私たち境高校14期生クラス会懇親会の開催が毎年恒例となっております。後期高齢になった昨今、日時・

会場(親家さむらい)を各自忘れぬよう同じにしています。出席者は毎年35〜6名位、近況報告に始まり、在学中の思い出に花を咲かせたり、尺八の名演奏や手品を披露して下さる方もおり、会場のあちこちで楽しい笑い声が絶えません。最後には皆で境高校の校歌を大合唱、記念撮影をして散会となります。来年の再会を約束し各々満面の笑顔で三々五々家路に着きます。

最後になりましたが、還暦同窓会にご招待下さり、クラス会開催のきっかけを作った下さった本部役員の皆様のお骨折りに感謝申し上げます。「蛍雪会」の益々のご発展をお祈り致します。

第19期生

3年6組クラス会

令和元年9月28日(土)

魚 功

代表幹事 猪瀬 晴男

昭和39年東京オリンピックの年に入学し、卒業してから52年経過しました。初めて会う同窓もいましたが、最初は容姿が変わった人もいましたが、5分も経たないうちに、すっかり昔を思い出し高校生顔に戻っていました。和気

あいあいとみんなが時の経つのも忘れ、3時間という時間があつという間に過ぎてしまいました。 70歳になるまで、いろいろな経験をしたかと思いますが、何とかここまで来て、今回のクラス会に出席できたことは幸せなことかもしれません。これからは健康に留意して残りの人生を有意義に過ごしたいものです。次回の再会を誓い、散会となりました。



第25期生

3年7組クラス会

令和2年1月4日(土)

ダイニングバー若菜亭

幹事 木村 泰之



還暦同窓会を機に毎年開催することにしたクラス会も、旧友に会える楽しみはあるものの集まる顔ぶれはだいたい決まってきた。

ところが今回は、還暦の際に連絡が取れず、以来ずっと音信不通の状態だったT君がひょっこり現れて、今日に至るまでの経緯を話して一同感慨深く聴き入った。

現れたきっかけは、たまたま同じ日に開催された小学校の同窓会に出席したT君を、当会には欠席の返信を出していたS君が引つ張ってきたものだった。

世の中どこでつながって、何がきっかけで動くのかわからないものだと、今更ながらに感心しながら嬉しく楽しい酒を酌み交わした。

境町の香取信仰と利根川水運の安全祈願

境町歴史民俗資料館長 野村 正昭 (高26)

境町では、今日でも村社(村の鎮守)の伝統行事や氏神信仰が継承され、村の保存会や氏子など、地元の世話人たちの協力によって、毎年恒例の祭礼が運営され、地域の人々の親睦と融和に大きな役割を果たしています。代表的な伝統行事が塚崎の獅子舞や井草の大杉囃子などがあります。

ところで、境町における社信仰の最大の特徴は、何と

言っても町内の行政区にたく

さんの香取神社が祀られていること

です。香取神社が鎮座している地区が、利根川沿いの旧境町の宮本町をはじめ21地区もあります。

香取神社は、日本全国には470社鎮座していますが、多くは茨城県西部(下総国)と埼玉(武蔵国)の利根川流域沿いに集中しています。

その理由は、香取神社を鎮守として

している地区の人々が利根川水運(舟運)の安全と無事を祈願するために、下総国(千葉県佐原市)の香取神宮(本宮)から勧請して祀っているからなのです。

境町にたくさんの香取神社

が祀られているのは、江戸時代に境町が河岸の町および水運の町として栄えてきた歴史を伝えて

います。そして、境町が下総国に属し、香取神宮を

下総国の「一宮」として崇拝して

いたため、香取神宮の神を勧請して町内各地に創建したのです。

香取神宮(本宮)は、千葉

県佐原市香取に鎮座し、下総国の一宮と旧官幣社(律令国家の神祇官や国府の管轄の社)の歴史を有し、祭神は、武神の経津主命が祀られ、国宝に

日本三大名鏡の「海獣葡萄鏡」が収められ、毎年、4月15日に例祭が開催されています。

また、古くから、香取神宮は利根川を境界として北に位置している常陸国(茨城県鹿嶋市)の鹿島神宮とともに武神、および軍神として源頼朝や徳川家康らの源氏一門に尊崇されてきたと伝えられて

います。さらに、香取神宮は、地域が軍事的要衝の場所であったことから、常陸国の鹿島神宮とともに大和朝廷の東国支配に重要な役割を果たして

いたものと考えられます。

なお、香取神宮は大化の改新で中大兄皇子を補佐して活躍した中臣氏(朝廷の祭祀を掌った氏族)が氏神として尊崇し、後に藤原氏(中臣氏が賜った姓)は香取神宮と鹿島神宮の双方を勧請し、藤原氏の氏神として、大和国(現在の奈良市)に春日大社を創建しています。

※経津主命は、鹿島神宮の武神の武甕槌大神とともに葦原中国平定を成し遂げた神と伝えられています。

※日本四神宮
 伊勢神宮(三重県伊勢市、内宮)・天照大神・皇室の先祖)
 熱田神宮(愛知県名古屋市の祭神・草薙剣)
 鹿島神宮(常陸国一宮)

境町内で香取神社以外に鎮座している神社

●若林・山崎地区の大杉神社(本社は稲敷郡桜川村阿波に鎮座する大杉神社で「大杉様」「あんばさま」と呼ばれている。)、鷲神社、愛宕社

※山崎地区の鷲神社(山崎南・北・七軒の村社は、社伝によると、鎌倉時代後半にあたる正和元(1312)年創祀と伝えられている。)

●伏木地区の愛宕神社と天満宮

●百戸地区と下小橋地区の六天社(仏教の六欲天の6番目の天部の神で商売繁盛の神)

●稲尾地区の熊野神社(紀州熊野権現霊)は社伝によると、創祀は大化5(649)年と伝えられている。

●猿山地区の一言主神社、社伝によれば、創祀は大同4(809)年と伝えられている。

●喜五郎地区の足尾神社(本社は新治郡八郷町の足尾山頂の神社)

●内門地区と大歩地区の天神社(菅原道真霊廟)



○香取神宮(下総国一宮)

境町内で香取神社以外に鎮座している神社

●若林・山崎地区の大杉神社(本社は稲敷郡桜川村阿波に鎮座する大杉神社で「大杉様」「あんばさま」と呼ばれている。)、鷲神社、愛宕社

※山崎地区の鷲神社(山崎南・北・七軒の村社は、社伝によると、鎌倉時代後半にあたる正和元(1312)年創祀と伝えられている。)

●伏木地区の愛宕神社と天満宮

●百戸地区と下小橋地区の六天社(仏教の六欲天の6番目の天部の神で商売繁盛の神)

●稲尾地区の熊野神社(紀州熊野権現霊)は社伝によると、創祀は大化5(649)年と伝えられている。

●猿山地区の一言主神社、社伝によれば、創祀は大同4(809)年と伝えられている。

●喜五郎地区の足尾神社(本社は新治郡八郷町の足尾山頂の神社)

●内門地区と大歩地区の天神社(菅原道真霊廟)

令和元年度 部活動大会等の主な成績

境高校は、文武不岐を目指す伝統ある学校です。文字通り勉強だけでなくたくさん生徒が部活動に励んでいます。運動部・文化部がそれぞれ全国大会をはじめ、関東大会、コンクール出場など毎年華々しい活躍をしています。

昨年度も例外ではなく、運動部においては、弓道部が東日本大会に出場(大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止)しました。また、陸上部の女子やり投げと男子棒高跳びで、水泳部でも男子100m自由形・男子200m自由形でそれぞれ関東大会に出場しました。

文化部においては、吹奏楽部が東関東吹奏楽コンクールに出場するなど輝かしい成績を収めました。その他の部活動においても素晴らしい成績を収めています。



男子硬式テニス部



女子バレー部



応援団リーダー部

陸上部

県陸上競技対校選手権大会 男子棒高跳 倉持歩希 3位・浅野 僚太 8位
男子三段跳 倉持拓 8位
女子やり投 張替莉帆 6位
女子100m 小林さくら 8位
女子棒高跳 四宮千夏 8位
女子4x100R 8位

関東大会出場 男子棒高跳 倉持歩希 出場

県個人選手権大会 共通男子棒高跳 倉持歩希 4位・西川拓翔 8位
共通女子200m 渡邊瑠唯 8位

県選手権大会 女子やり投 張替莉帆 7位

関東選手権大会 女子やり投 張替莉帆 出場

県新人大会 男子棒高跳 倉持歩希 1位・西川拓翔 3位

関東選抜新人選手権大会 男子棒高跳 倉持歩希 出場・西川拓翔 出場

全国選手権県大会 3回戦

関東県予選 出場

全国総体県予選 2回戦

全国選手権大会県予選 ベスト16

新人県大会 ベスト16

関東大会県予選 男子団体 ベスト16 男子個人 5回戦 女子個人 3回戦

全国総体県予選 男子団体 出場 男子個人 ベスト16 女子個人 2回戦

県勝ち抜き大会 男子1部 2回戦 女子1部 出場

全国選抜県予選 男子団体 2回戦

全国総体県予選 男子団体 出場 女子団体 出場

県新人大会 男子団体 出場 女子団体 出場

県冬季大会 男子団体 第1位 女子団体 出場

東日本大会 男子団体 出場↓新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大会は中止

剣道部

関東大会県予選 男子団体 ベスト16 男子個人 5回戦 女子個人 3回戦

全国総体県予選 男子団体 出場 男子個人 ベスト16 女子個人 2回戦

県勝ち抜き大会 男子1部 2回戦 女子1部 出場

全国選抜県予選 男子団体 2回戦

全国総体県予選 男子団体 出場 女子団体 出場

県新人大会 男子団体 出場 女子団体 出場

県冬季大会 男子団体 第1位 女子団体 出場

東日本大会 男子団体 出場↓新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大会は中止

弓道部

全国総体県予選 男子団体 出場 女子団体 出場

県新人大会 男子団体 出場 女子団体 出場

県冬季大会 男子団体 第1位 女子団体 出場

東日本大会 男子団体 出場↓新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大会は中止

男子バスケット部

関東大会県西A予選 2回戦

全国総体県西A予選 3回戦

関東新人大会県西A予選 2回戦

関東大会県西A予選 出場

全国総体県西A予選 出場

関東新人大会県西A予選 出場

全国総体県予選 女子団体 ベスト16

県少年少女選手権大会 女子シングルス 2回戦

県新人選手権大会 男子団体 2回戦 女子シングルス 出場

硬式テニス部

全国総体県予選 女子団体 ベスト16

県少年少女選手権大会 女子シングルス 2回戦

県新人選手権大会 男子団体 2回戦 女子シングルス 出場

科学部



弓道部



書道部



美術部



【茶道部】

文化祭における発表

【文芸部】

文化祭における発表 文集制作

【書道部】

県総合文化祭美術展覧会 入選 富張萌花
インタラクティブフォーラム県大会 (B部門) 茨城県議会議員長賞2位

【英語部】

文化祭における実践
松崎穂華 西川里菜 齊藤彩海 相良静

【科学部】

県総合文化祭美術展覧会 入選 遠藤恒樹
秋庭光希 亀田美々 篠崎茉那 櫻井亜唯加 大野瑞季

【美術部】

県総合文化祭美術展覧会 入選 遠藤恒樹

【写真部】

県総合文化祭美術展覧会 入選 遠藤恒樹

【演劇部】

県高校演劇祭県西地区大会 優良賞
創作脚本賞 遠藤恒樹

【応援団】

県高等学校応援団連盟演技披露 「霊峰の下に」 出演

【吹奏楽部】

東関東吹奏楽コンクール B部門 銀賞
県アンサンブルコンテスト 打楽器七重奏 金賞
クラリネット四重奏 銀賞

【空手道部】

県春季大会 男子100m自由形 木城大輝 4位
国体県予選 男子200m自由形 木城大輝 5位
男子400m自由形 木城大輝 6位

【水泳部】

関東大会 男子100m自由形 木城大輝 出場
男子200m自由形 木城大輝 出場
男子400m自由形 木城大輝 6位

【卓球部】

新人大会県西予選 2回戦
関東大会県予選 男子シングルの 出場 男子ダブルス 出場
全国総体県予選 男子団体 2回戦 男子シングルの 出場
県選手権大会 男子シングルの ベスト32 女子ダブルス 3回戦
県新人大会 男子団体 ベスト16 女子団体 2回戦

【女子バレー部】

茨城国体記念大会県大会 2回戦
新人大会県西予選 代表決定戦

【男子バレー部】

関東大会兼全国選抜県西予選 出場
茨城国体記念大会県西予選 2回戦
新人大会県西予選 代表決定戦

【ソフトテニス部】

全国選抜県予選 男子団体 2回戦 女子団体 ベスト16
関東大会県予選 男子団体 2回戦 男子個人 3回戦 女子個人 出場
全国選抜県予選 男子団体 出場 男子個人 3回戦 女子個人 出場
新人大会 男子団体 ベスト16 男子個人 ベスト16
女子団体 2回戦 女子個人 2回戦

令和元年度卒業生

進路状況

令和元年度卒業生の進路状況は、大学進学が約62%、短期大学進学が約3%、専門学校進学が約24%、就職が約6%、進学準備を含めたその他が約5%という結果でした。卒業生のうちの約90%が上級学校に進学したことになり、進学への意識の高さが感じられます。

大学入試の状況を見てみると、合格者数は減少していますが、平成29年度から本校が学級減になっていることや、ここ数年の大学側による入学定員の遵守などが主な原因と思われる。

そのような状況の中、今年度は国立大学では茨城大学・宇都宮大学・山形大学・諏訪東京理科大学、私立大学では、難関と言われる中央大学・法政大学・成城大学・成蹊大学等に合格者がありました。

また獨協大学や文教大学にも多くの合格者があり、本校生からの人気の高さを示しました。こうした大学進学者の中では、理系の大学に進学した生徒の割合が半分を占めており、境高校の特徴とも言えます。

専門学校は多種多様な分野に進学していますが、特に看護医療の道へ進む生徒が毎年多くおり、このような道を目指す生徒たちは、在学中に看護体験

やボランティア活動などにも積極的に参加しています。いずれにしても、専門学校進学者はしっかりと自分の将来設計をもとにした学校選択が必要です。

就職は、最近の求人増加もあって多くの生徒が地元の企業に就職しました。ただ、どのような状況でも企業の求める人材像は変わりませんので、時事問題を含めた一般常識を理解していること・高校時代に打ち込んだことがあること・欠席が少ないことなどは必須条件であるようです。

今、大学入試改革や経済状況の変化など高校生にとって不安な日々が続きますが、生徒の学力向上を図り、学習環境を整えて、進路の実現のために職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、同窓会の援助により今年も本校舎に大学合格に関する垂れ幕を設置させていただきました。生徒の意欲の向上や地域への広報活動に大いに役立っておりますことを、この場をお借りしましてお礼申し上げます。今後とも引き続き本校の進路指導にお力をお貸しいただきますよう、どうぞよろしく願っています。

令和2年度入試 主な合格大学 (延べ人数、過年度卒業生を含む)

国公立大学 (合計6名)

- 茨城大学……………2
- 宇都宮大学……………2
- 山形大学……………1
- 諏訪東京理科大学…1

私立大学 (合計195名)

- 中央大学……………2
- 法政大学……………2
- 成蹊大学……………1
- 成城大学……………1
- 日本大学……………2
- 東洋大学……………10
- 駒澤大学……………3
- 専修大学……………2
- 國學院大學……………2
- 東海大学……………1
- 獨協大学……………4
- 文教大学……………14
- 東京電機大学……………7
- 武蔵野大学……………1
- 大東文化大学……………2
- 帝京大学……………3
- 国士舘大学……………5
- 亜細亜大学……………1
- 拓殖大学……………2

過去5年間の大学合格者数 (延べ人数、過年度卒業生を含む)

入試年度	国公立大学	私立大学
令和2年度入試	6	195
平成31年度入試	9	224
平成30年度入試	7	216
平成29年度入試	18	301
平成28年度入試	10	259



センター試験ガイダンス (3学年)

多士 済々

バック・イン・ミュージック、永六輔さん、そして私

現・NPO法人放送批評懇談会副理事長
元・TBSラジオ番組制作プロデューサー・ディレクター

橋本 隆 (高12)



放送中の筆者

境高校での3年間は楽しい思い出で一杯です。その中でも私の人生を決めた最も大切な思い出を紹介いたします。それはTBSの深夜放送「バック・イン・ミュージック」(以下「バック」と略)に強い影響を与えました。思い出とは、数学担当で担任の張替勇先生から授業の終わりに聞いた一言です。先生はこうおっしゃいました。「私は死ぬ時に生まれた時より世の中がほんの少しだけ良くなった、と確認して死ぬるように生きたい。そして、同じ思いを持つ子供たちをひとりでも多く社会に送り

に感嘆しました。面白くてしかも聞き終わるとなにか一つ賢くなった感がありました。その永さんのお話の根底にあるのは「戦争はイヤだ」、「憲法は守ろう」、「常に弱い者のサイドに立つ」という生き方でした。張替先生のおっしゃったことを実行することは、この永さんの考えを伝え続けることだと覚悟しました。私はもう一人の師を得たので、入社4年目の1969年春、上司から「バック」の担当をするように命じられ、永さんのパーソナリティ起用がOKならという条件で承諾しました。始まった永さんの深夜放送「バック」は一味も二味も異質の番組でした。

永さんはこう言っています。「深夜一人ラジオを聞く若者と音楽を中心に語り合うのは綺麗ごとだ。」永さんは言わば「上から目線」の番組を目指していました。「永六輔の世界に入っていらいっしょい」です。私のやる仕事は毎週1000通を超えるハガキを全て読み、内容別に分けて、お渡しすることでした。リクエスト希望だけのハガキを除き全て渡しました。それと、数曲レコードを用意しました。永さんは金曜の夜にその全てを読んできましたが、番組中それを紹介することは極めて稀でした。彼は全てのハガキの中からテーマを選び、それを中心に自分の知識、経験、エピソードを交え話しました。時折、話題が代わる時など音楽が流れました。若者だけではなく聴取者層が広がり大変好評でした。反応が大きく間違っていないと安心しました。

そんな時に事件が起こりました。始まって6回目、5月3日でした。スタジオにいらした永さんは「今日は何も準備しなくていいです。憲法記念日ですから、憲法全文を読みます。」とおっしゃいました。私はチョットびっくりしましたが、勿論了解です。永さんはそして、番組の挨拶を終えたら、淡々と憲法前文から読み始めました。説明も何もありません。CMが時々流れました。約2時間半、最後に第99条を読み終えて、終わりと言っていました。永さんの伝えたかった思いが身に沁みました。こんな放送が許されるのかなどの心配はありませんでした。今日の「バック」内外から予想もなかった今で言う「いいね」の反響が多数あり、担当者としてはホッとしていました。誤解がないように書き添えたことがありますが、永さんのお話は何か押し付けるものではありませんでした。今回の「憲法朗読」も「皆さんは憲法を読んだことがあるか」がテーマで、読んで理解した上で考えなさいと説いたのです。つまりは深夜の学校で、永さんは張替勇先生と同じく先生でした。深夜の学校は2年半続きました。今の世の中が一歩良くなった姿を見て死ぬるかどうかが分かりません。でも、あんな放送ができたことに心から満足しています。



放送終了後の永さん、後姿が筆者

卒業55年

安井 正博 (高18)



昭和22年生まれ... 団塊の世代と呼ばれ、第一次ベビーブームに生まれた世代で、入学試験・就職・結婚と人生の節目節目において苛酷な競争に晒されてきました。

55年前の高校時代を振り返ってみますと、高度成長時代で、日本の人口もどんどん増加していき、好景気が続き、努力をすれば必ず結果が出るという時代だったように思います。

私の高校時代の3年間は、野球・野球に明け暮れる毎日でした。体力が余りなかった1年生の頃は疲れて、授業中は居眠りばかりして、先生にしょつちゅうお目玉を食らっていました。野球の戦績もそれ程目立つ成績を上げることも叶わず、野球漬けの3年間は終わりました。苦しい練習を耐え抜いたお陰で気力と体力はついたように思います。

大学もスポーツ推薦で入学しましたが、甲子園組の一流選手の中では中々目立つこともできず、大学の授業にはほとんど出席できず中途半端なまま、肩を壊してしまい、挫折をしてしまいました。2

年生の春のシーズンが終わったのを期に野球部を退部し、大学も中途退学をしました。夏休みから予備校に通い、翌年他大学に入り直しました。父親も、2年間無駄にしたけれど人生は長い、と許してくれました。本当に親には感謝をしています。

でも私は野球が本当に好きだったのかも知れません。又野球部に入学しました。東都大学の三部、四部を行ききする、授業が優先の部活でしたので、4年間、野球を楽しむことができました。生涯の友もでき、あつという間の楽しい大学生活4年間でした。

人生の転機である就職の時期を迎え、これからの進路をどうするか悩みました。景気の良い時代で、一流企業に就職できた時代でしたので、家業を継ぐかどうか悩みました。父親はお前の人生だから、又何かやりたいことがあるなら好きにして良いよと言ってくれました。本音は継いで欲しかったんだと思います。ゼミの先生や先輩などに相談したり色々悩みましたが、特にやりたいこともなかったし、商売にもまだ良い時代だったので、家業の酒問屋を継ぐ決心をしました。

修行も兼ねてビール会社に就職しました。銀座や新橋の飲食店にビールを売り込む営業職でしたが、景気も良く、上司にも恵まれ、成果もあげ、充実したサラリーマン生活を送ることができました。4年が過ぎた頃、父からそろそろ帰

つてきたらという話がありました。そう言う約束だったので、翌年の春にビール会社を退社し境に帰ってきました。

その後平凡な見合い結婚で、良き妻に巡り会い、一男二女にも恵まれ、気がついたら、あつという間に40年が過ぎていました。

帰郷当時はまだ景気も良く、順調な営業が続けられました。山あり谷ありの40年間でしたが、祖父・父・私と100年続いてきた会社を潰すことなく息子に継承することができるということで、何となくホッとしている今日この頃です。

昨年、境町の道の駅敷地内にさかい河岸ブルワリーという地ビールの醸造所をつくり醸造を始めました。そして今年1月にジャパングレートビアアワーズという権威



さかい河岸ブルワリー

のある品評会で金賞を頂き大喜びをしていた矢先に新型コロナウイルス騒動が勃発しました。

境高校の現役の生徒たちもウイルス騒動に巻き込まれ、大変な思いをしていることと思います。でもこの苦難の先には必ず明るい未来が開けると信じています。

73才になる私は、今まで支えてくれた方々に感謝し、限られた時間の中で、少しでも社会に貢献できるよう、健康に留意し、一日一日を大切に、生活をしていきたいと思えます。



高校時代の思い出

野口 敏弘 (高25)

入学時から半世紀も経った。1970年は2月に大阪万博が開催。邦楽年間ランキング一位は「黒猫のタンゴ」洋楽が「明日に架ける橋」。世の中まだまだ高度経済成長期の入り口だった。

(当時)白亜の洋風建築の校舎に魅せられ正門をくぐった。校章は雪の結晶と蛭、同窓会報「蛭雪」の所以。3階屋上には荒鷲アルタイル(アラビア語で鷲を意味する)の石彫刻が重厚感を増す。「蛭雪に学び将来天下を睥睨する」ようにとの先人の教えか。

校歌も素晴らしい。NHK朝ドラで作曲家古閑裕而を主人公にした「エール」が高視聴率を上げているが負けず劣らず。作詞の「葛原しげる」は大作曲家・童謡作家。「きんきんぎらぎら夕日が沈む」の歌詞で知られる童謡「夕日」や「とんび」「キューピーさん」など約4千編の作詞を手がけ、校歌の作詞も全国約400校に上る。

作曲家の「小松耕輔」も大作曲家で東京女子高等師範学校教授やお茶の水女子大教授等を歴任、校歌では茨城県立太田第一高や下館第一高、武蔵野美大校歌など多数。在学時には知る由もなく歌っていた。

高校生活に華やかさはない。入学したばかりの英語の授業。津田塾大を卒業したばかりのI先生がにこにこしながら英詞の「Bridge Over Troubled Water」の英字が。和訳の宿題だ。

辞書をひいてもさっぱりわからず意味をなさない。翌日の授業、シテイボーイのK君はその顔色から自信満々さが伝わってくる。その宿題はサイモンとガーファンクルの「明日に架ける橋」の英詞の翻訳。K君は苦も無く完璧に日本語訳を提出。イナカボーイはあえなく玉砕、I先生「そんな宿題ありなの？」と。二年時の文化祭。自分は新聞部に在籍していたが、男子が在籍しない演劇部の顧問だったI先生から「演劇やらないか？」とスカウ



トされた、劇中(確か)「原爆許すまじ」の父親役である。即断わりを入れたが、廊下で会うたびに勧誘を受けとうとう根負けした。下手なセリフと演技で先生にも部員の方にも大変迷惑をかけた。何故か熱心に誘ってくれたI先生に申し訳ない気持ちで一杯だった。

私自身大学を卒業後、大手ゼネコンの鹿島(赤坂見附本社)に入社。以来40数星霜、昨年退職し現在都内の一部上場企業の顧問をさせていただいている。社会人になり多くの有名大(高校)出身者と共に切磋琢磨してきた。

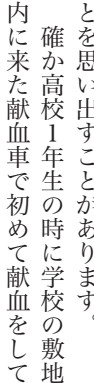
境高も進学数は増えてはいるが、有名校への合格者を突出して輩出している感はない。生徒の質によるのか学校が持つ風土(文化)にあるのか、受験ノウハウの不足によるか。開設時に未来を託した先人達の「創立の精神」を今日思う時、どれだけその思いを付度継承して応えていけるだろうか。

賛助金協力者芳名

7月1日現在
()内旧姓

氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年
宮島正二郎	中17	針替道子	高3	関義治	高11	知久和雄	高2
高崎一衛	高4	小澤宣	高7	印出井(永塚)慶子	高12	中山淳一	高2
栗原勇農	高11	鈴木新平	高8	小林城	高12	忍田早苗	高2
210000円		玉野昇	高10	松沼茂	高13	工藤哲郎	高3
栗原勇農	高11	柿沼(中久喜)みち子	高12	広瀬弘司	高14	高尾雅木	高3
200000円		菊地重夫	高12	酒井要彰	高14	坂田政男	高3
小松原康之助	高6	野口修平	高12	海老澤滋	高16	石塚文貞	高3
酒井義博	高12	下河邊栄晃	高14	山崎(飯塚)幸子	高17	坪野(塩森)米三	高3
100000円		石山征夫	高14	松本吉雄	高17	岡田裕	高4
赤澤亨	中10	石塚(榎場)栄以	高14	廣井(酒井)妙子	高18	沼田美智子	高4
海野光雄	中14	飯塚(染谷)郁夫	高15	阿部(齊藤)シズ子	高18	鈴木(根本)美代子	高4
染谷敬治	併1	田中(石崎)和枝	高17	木野内(柳)陽子	高18	山本(戸塚)龍子	高5
木村訓夫	高3	齊藤竹重	高18	相沢勝司	高21	大里時雄	高5
高橋伸哉	高5	猪瀬晴男	高19	忍田悦志	高21	忍田利夫	高5
富張(吉羽)やい	高6	廣澤(金久保)幸子	高21	関岩夫	高22	小菅正之	高6
富張広司	高7	野永茂	高22	稲毛田純子	高24	倉持建雄	高6
木下貫正	高7	菅谷清	高24	五十嵐千代子	高24	小菅正之	高6
古谷新六	高8	生井香代子	高26	青木和之	高25	大越恒男	高7
山中勇	高10	忍田真里	高26	片岡誠	高25	相良正	高7
遠西(飯沼)栄子	高11	飯田勝己	高26	生井義雄	高27	青木秀	高7
遠藤恒雄	高12	竹村正昭	高26	小林(須沢)明広	高29	児矢野忠男	高7
遠藤裕子	高12	竹村(中里)多美子	高28	山田(相良)真理	高30	境昭彦	高7
岩本明	高13	大木直人	高30	下村(藤井)ひとみ	高30	倉持直一	高9
小野口清一	高13	吉澤靖	高30	下村(藤井)ひとみ	高31	小菅(荒井)郁子	高9
渡辺昇	高16	酒井(染谷)紗織	高32	村田健夫	高31	高塚秀夫	高9
渡辺(塚原)美江子	高18	30000円		平井俊行	高31	青木秀	高7
菅谷文夫	高19	関口衛	旧職員	木村(石塚)秀伯	高34	相良正	高7
森誠	高21	武藤常三郎	中17	小木(金子)昭吾	高38	大越恒男	高7
落合順二	高21	江田愿夫	高3	飯塚(上野)桂史	高40	相良正	高7
匿名	高30	横島(後藤)政雄	高4	石山哲夫	高41	大越恒男	高7
生出文男	高35	関(石塚)勝男	高4	田辺一弘	高42	大越恒男	高7
吉田洋明	高36	赤荻竹雄	高4	篠崎(早川)美和	高44	大越恒男	高7
80000円		野口宣英	高5	佐藤綾乃	高51	大越恒男	高7
染谷清志	高12	西村(岡崎)博	高6	20000円		大越恒男	高7
60000円		石川光良	高6	関根啓子	旧職員	大越恒男	高7
吉羽昌子	高25	片倉純孝	高6	石川(田中)文江	旧職員	大越恒男	高7
木村泰之	高25	石塚年弘	高8	飯塚久男	旧職員	大越恒男	高7
50000円		染谷一夫	高9	川崎俊夫	中14	大越恒男	高7
小島哲男	中17	行川(張替)征子	高10	遠藤譲一	中17	大越恒男	高7
松原俊二	中17	稲垣武	高11	大里和雄	高2	大越恒男	高7

金久保(石山) 昂子	高44	中村亨	高15	片倉(関根) 政美	高33	木村泰輔	高68
中原大仁	高42	橋本(落合) 常七	高15	前岡(野口) 由利子	高32	飯田瑞穂	高68
鈴木嘉彦	高41	町田(関根) 恵美子	高14	関根登	高32	瀬戸口航大	高68
竹田宣弘	高40	野口正	高13	飯田(飯島) 久美子	高31	飯田瑞穂	高68
石谷祐司	高40	金子志郎	高13	山口(荒井) 浩子	高31	瀬戸口航大	高68
上原一浩	高39	柴崎弘	高10	齊藤伊佐夫	高30	針替美穂	高68
柿沼雄一	高38	井上(稲毛田) 岩三	高10	中久喜透	高30	坂優輝	高68
大沼一行	高37	富張眺一	高9	諸井(青木) 治美	高30	関根香菜	高68
飯田(斉藤) 俊男	高34	山上喜男	高9	金子(野口) 美由紀	高30	永井紀帆	高68
前崎(前崎) 明子	高33	山本(野口) 恵子	高9	松本(青木) てる子	高29	菅野(町田) 留理	高67
平岩(赤荻) 光江	高32	岡野博	高9	鈴木(稲葉) 弘子	高28	山野遼佑也	高67
服部(染谷) 美智子	高32	落合潔	高7	中村(神崎) 和子	高28	山下翔平	高66
高橋正	高30	野口正行	高7	松本英樹	高28	木村雄介	高62
染谷(杉野) 玉江	高30	本谷碩男	高7	小林(山口) 京子	高28	中村友香	高60
梁野(長谷川) 春美	高29	樋崎成彰	高6	古矢昭夫	高28	田口貴文	高59
倉持(稲垣) 佐登子	高29	濱本茜	高6	丸山(青木) 三枝子	高26	佐々木梢	高58
逆井勇	高28	石川知弘	高5	岸山(海老沢) 清子	高26	小方(染谷) あゆみ	高57
細野章	高28	荒井壽朗	高5	間中和子	高25	星山(染谷) 裕子	高56
根本(関根) 美佐子	高27	飯塚(落合) あさ子	高4	八幡(塚原) 緑	高24	皆川(野口) 佳子	高54
猪瀬忠男	高26	中村(鈴木) 敬子	高4	大瀧(塚原) 緑	高24	木村裕美	高52
石山巖	高26	真中岩三郎	高4	秋田数男	高24	中村ゆかり	高52
新谷友康	高26	下河邊馨	高4	逆井一	高24	廣田(渡邊) 智美	高51
山中寛	高26	市村(関口) 文子	高3	岩上(飯塚) きみ子	高23	和田俊明	高49
五島勇	高26	市村有	高1	藤本顯了	高22	森田(塚本) 智子	高49
金子勇	高26	稲毛田新一	中15	千葉(根本) 道子	高22	渡辺光之	高48
我妻(知久) 吉子	高26	江田昭夫	中13	青木亨	高22	増田(栗原) 加寿恵	高48
中沢茂	高25	北島清	中8	神原(田中) みゆき	高22	間中淳	高44
小森(串間) 紀子	高25	松山昌利	旧職員	齊藤(船橋) きよみ	高21	平田一恵	高44
三ツ泉(中村) 道子	高24	小泉信三	旧職員	若旅武	高21	小野寺誠	高44
篠崎道男	高24	岩田隆	旧職員	増田裕文	高20	三富博也	高42
金澤正	高23	飯田秀平	高67	石塚光男	高20	瀬戸口(染谷) 由美子	高40
野口進	高23	中山茜	高67	野口(野口) 芳枝	高19	関口(中村) 順子	高40
香取成佳	高23	小島隆	高65	落合満	高18	佐古亜樹子	高39
木村(山中) 美智子	高22	飯田久士	高64	平田(林) 由紀子	高18	林和宏	高38
当舍律	高22	石川徹	高64	成島清	高18	武笠義彦	高38
塚原正裕	高21	永塚由貴	高57	佐野俊導	高18	関(野口) 清美	高38
筑井正	高21	海老原忠広	高48	柿沼昌美	高18	穴戸(大野) 佳美	高37
本谷知成	高21	並木淳一	高46	野村好弘	高17	青木(島田) 進	高36
並木淳一	高21	若松弘道	高16	木下(青木) 公子	高16	並木俊一郎	高35



編集後記

ご寄稿いただいた皆様、そして賛助金でご協力いただいた皆様、今回も誠にありがとうございました。高校時代の思い出を拝読していると、自分のことも「ああ、あれがぎっぴりだったのか」などと当時のことを思い出すことがあります。確か高校1年生の時に学校の敷地内に来た献血車で初めて献血をして

以来、献血車を見つけると血が騒ぐようになりました。コロナ禍で輸血用の血液が足りないと聞き、この3月から6回の成分献血で頑張ったところ、通算で99回の献血をすることが出来ました。取り立てて取り柄のない自分が少しでも誰かのお役に立てていること、健康であったからこそ50年間献血を続けてこられたことに、心から幸せを感じる今日この頃です。

編集委員 木村泰之

賛助金の報告とお願い

会報発行の費用(賛助金)について、会員の皆様からご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年(第5号)の内訳は、別表のとおりです。どうか、収支が収まっていますが、それは、前回の残金があったためで、このままでは、次回は20数万円が不足となる見込みです。同窓会の一般会計からの支出も考えていますが、できるだけ賛助金で賄えたらと思います。

そこで、今回から振込み方法を、今までの郵便振替だけでなく、コンビニからも振り込めるようにいたしました。

そして、金額は、1,000円、振込みの費用(約160円)も同窓会で負担します。できるだけ全員の皆様にご協力いただけますようお願いいたします。

また、1,000円以上、ご協力いただける方は、郵便振替で、金額を訂正の上ご協力ください。郵便振替も振り込み費用は同窓会負担です。

住所等に変更がある場合も、郵便振替を

賛助金の収支

収入	1,398,200円 (384名分、他)
支出	1,382,415円
残高	15,785円

- ご利用ください。
- 第6号の発送の対象は、以下の通りです。
- 1、現・旧職員。
 - 2、これまで一度でも、賛助金をお送りくださった方。
 - 3、今回(第6号)は奇数回の卒業生。
 - 4、今回(第6号)の記事の執筆にご協力いただいた方の学年。
 - 5、今年、総会に招待する学年。なお、第5号までは、境高のホームページでもご覧いただけます。